

次期参院選組織内統一候補に聞く

日本薬剤師連盟 神谷政幸 副会長

「“ポスト藤井基之”後継目指し
不退転の決意で全力傾注」

来年7月に予定されている参議院議員選挙に日本薬剤師連盟（日薬連盟）の組織内統一候補に決定している同連盟副会長の神谷政幸氏が精力的な活動を展開している。薬剤師で当年42歳という若さとエーザイ勤務、薬局経営者という薬業界の現場を知り尽くした経験が武器で、今期限りで勇退する藤井基之議員の後継を目指す。薬局経営者の座を捨てて政界入りを決断した同氏に未来は輝くか。

（聞き手＝取締役編集局長・西健一郎）

——プロフィールを拝見しますと、神谷副会長は1979年1月6日生まれの42歳。長い歴史を誇る日薬連盟の参議院議員立候補者をたどってみても、神谷副会長が史上最年少の候補者ではないかと思えます。現在はどんな心境ですか。

神谷 年齢は今ご指摘いただいたように、当連盟の参院選統一推薦候補としては最年少かもしれません。でも私自身はあまり年齢を意識したことはありません。

国会議員を目指そうと決意した以上、しっかりと経験を積んでいろいろ発言もし、長く務められる議員活動をしたいと考えています。

われわれの業界の立場で申し上げれば、医薬分業がだいぶ進んできて国民生活の中にもその仕組みが定着してきました。この明かりをこれから先もともしていくため

にも医薬分業を担っていく若い薬剤師たちと一緒に未来をつくり上げていきたい、という強い思いがあります。

法律や政策に強く影響を受ける薬剤師のため出馬

——そもそも政治の世界に入ろうと決断された経緯と、日薬連盟の次期参院選統一候補になられた経緯をご説明ください。

神谷 私が特に政治というものを意識したのは、愛知県豊橋市の青年会議所における活動が発端です。その中で委員長として1年間事業を担当する役割を担った際に「主権者教育に関する事業」を任されました。

18歳選挙権が話題になった頃でしたので、町の高校生たちに政治、それから投票、自分たちの未来を

つくるということを意識してもらうという活動に1年間取り組みました。

自分自身も、日本の未来に関して政治が大事だということをもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、そこから強く興味を持ったのです。

そうしたことが下地にあって、6年前に日本薬剤師連盟の企画実行委員会に委員として携わりました。2016年の藤井基之先生の選挙、19年の本田顕子先生の選挙など、後援会活動も含めて大変深く関わりました。

支援するに当たって、国から付託された資格である薬剤師がどれだけ政治や法律、政策というものに深く影響を受けているかということを目の当たりにしました。自分自身もそれについていろいろと調べて、法律や政策は薬剤師にとって非常に重要であると実感しました。

今回、藤井基之先生がご勇退されるということに当たり、ぜひその場に私自身が、これから引っ張っていく同じ世代と一緒に薬業界を盛り上げていきたいという思いから立候補をしたのです。

——日薬連盟は当初は藤井議員の続投を模索していたように聞いていましたが、本人は勇退の意思が固かったのです。

神谷 ご指摘の通りで、日薬連盟としては、一昨年7月の参院選で本田顕子副会長（当時）が当選されて、組織内候補者議員2人体制が出来上がりました。日本薬剤師連盟としては長年の夢が実現できたわけです。

山本信夫会長らが続投を要請した際に藤井先生は「候補者も含めて若返らなければいけない」と言われたと聞いています。それを踏まえて開催された昨年9月の臨時評議員会で議論した結果、新しい候補者を選考しようという結論に至り、各ブロックから推薦者を募る形になったのです。

——そのブロック推薦に神谷副会長が含まれていたわけですね。

神谷 そうです。

薬局経営者の座捨てての決断が候補者の決め手に

——最終的に統一候補になられたのはいつですか。

神谷 昨年3月末です。日本薬剤師連盟定時評議員会で議決されました。

——ブロック推薦された方は何人いたのですか。

神谷 6人と聞いています。

——神谷副会長が適任者となった一番の決め手はどういう点だったのでしょうか。

神谷 評議員会における役員からの説明によると、適任とした主な理由は、6年前から当会の参院選のお手伝いをさせていただいていた経緯や若さに加え、立候補をするに当たり、今まで自分が社長をしていた薬局経営の座を捨ててまで臨んだその決意、覚悟にあったと聞かされました。

——なるほど。それは大英断で



PROFILE

かみや まさゆき：1979年1月6日生まれ。愛知県出身。2003年3月福山大学薬学部卒業後、エーザイ入社。大阪で3年半MR経験後、実父の急死に伴い愛知県豊橋市内の稼業のドラッグストア・カミヤの経営を継承、現在同社相談役。09年愛知県薬剤師会・豊橋市薬剤師会理事、13年愛知県薬剤師会理事、14年日本薬剤師連盟企画実行委員会委員、18年豊橋青年会議所開発理事、19年豊橋市薬剤師会副会長、20年日本薬剤師連盟副会長。趣味は読書と音楽鑑賞で五木寛之が愛読書。音楽は大江千里のファン。

したね。薬局はどうされたのですか。

神谷 大学の後輩に譲りました。

——退路を断たれたわけですね

神谷 そういうことです。

——相当な覚悟で手を挙げられたということですね。実際推薦を決まった瞬間はどんな気持ちでしたか。

神谷 それはもう「何が何でも絶対に当選してやる」と思いまし

た。私自身、薬業界全体のために頑張りたいという思いが強くなり、将来的に薬業界、薬に関わる人たちがみんなが輝いて、国民のより健やかな生活が実現する、そこまでしっかり自らの職務を果たしたいという思いが一番強かったです。

——ご家族の反対はなかったのですか。

あります。

国民皆保険をしっかりと守って
いくことがまず一つ。

二つ目が薬局薬剤師出身という
こともあり、やはりかかりつけ薬
局、薬剤師の制度をしっかりと国民
に理解をしていただくこと。

そして医薬分業制度のさらなる
定着化です。医薬分業という言葉
は国民にしっかりと浸透してきて
はいますが、制度としてよりしっ
かりと薬剤師の職能が発揮でき、
そのことを国民自体にも実感をし
ていただけるような活動をしたい
と考えています。

先ほども申し上げたように私は、
一般用医薬品（OTC 医薬品）を置
いている薬局と家が一緒であり、
職住一体となった環境で生まれ育
ちました。

私の店の店頭では「先生、ちょ
っとこの調子が悪いんです」と
いった地域の生活者からの相談を
受ける姿を小さい頃から見ていま
した。

だから処方箋応需だけでなく、
一般用医薬品などを使ってセルフ
ケア、セルフメディケーションに

よって国民の身近な健康に携わる
こと。これが三つ目です。そのた
めにもかかりつけ薬局、薬剤師の
役割の重要性を訴えていきたいと
考えています。

セルフ税制の拡充も 政治信条

——神谷副会長が掲げているマ
ニフェストには、今、日本一般用
医薬品連合会などが中心に普及活
動を展開している「セルフメディ
ケーション税制の拡充」には触れ
ていません。OTC 医薬品の店頭活
性化という点では大事なテーマだ
と思います。

こういうテーマはやはり日本薬
剤師会、あるいは日本チェーンド
ラッグストア協会などともっと連
携していかないと、世論の喚起に
はつながらないと思いますが、ど
うお考えですか。

神谷 ご指摘の通りで大事な取
組み課題だと認識していますし、
日本薬剤師会もセルフメディケー
ション税制の拡充活動に協力して
いると承知しています。

——仮定の話になりますが、仮
に神谷副会長が当選された場合、
本田顕子議員との連携、役割分担
については、何かお考えになって
いることはありますか。

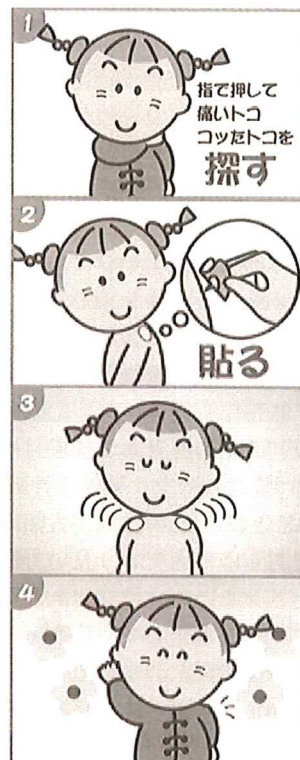
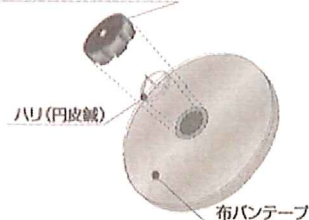
神谷 本田先生とは現段階では
そういう話はしておりませんが、
本田先生は医薬品流通業での勤務
経験が長く流通には精通されてい
ます。それから災害などもご自身
が熊本出身で経験されていますの
で、国土強 靱化などの問題でも大
変心強いと思っています。

私は薬局の現場の薬剤師の声、
それから経営、調剤報酬、診療報
酬という社会保障の中の枠組みで
の薬局、薬剤師、医療機関の声を
国政に届ける。そんな観点からの
活動を通じて、本田先生と連携で
きるのではないかと考えています。

肩のこり、筋肉の痛みに スポールバン®

痛くないはり治療

酸化鉄粉末成型板（圧粒子）



最も痛むところ（圧痛点）に
まず1個、それに接近させて
2〜4個はってください。



「貼る」を確かな技術で。

ユートク薬品



神谷副会長（左）と小社社長の安藤俊仁